

高齢者向け住まい 入居してみたけれど…

高齢者向け住まいに入居してみたけれど、様々な理由で別の施設へ移りたいという方がいらっしゃいます。どのような理由で再び施設を探すのか？内容をまとめてみました。今後の施設選びの参考にしてください。



入ったあとで、追加料金が掛かり、月額利用料金が高くなってしまった

月々にかかる費用は、各ホームで様々です。大変ですが、必ず契約前に確認することが大切です。一般的には、居住費、食費、光熱費、管理費などの総額が月額費用となります。これ以外にオムツ代、日用品代、医療費、趣味にかかる費用さらに突発的な費用の発生も考えられます。ある程度の余裕は考慮しておく必要があります。

施設周辺の騒音がうるさい、空調機、洗濯機がうるさい

これからのことを考えて、生活しづらい施設や場所は、避けたいものです。特に騒音が気になるような場所だと、睡眠が妨げられるといった問題に発展しかねません。しっかりと確認する必要があります。

入居中に病気になってしまった

施設が医療・介護のニーズにどこまで対応できるかも確認しておきましょう。健康状態が悪化し、数カ月以上の入院治療が必要な状態になると、施設を退去が移動しなければなりません。契約時に必ず説明を受け、しっかりと確認したうえで契約書に捺印しましょう。

交通の便が悪く買い物などに不便

施設内の設備やサービスについて目がいってしまい、立地条件を重視せずに決めてしまうと、入居してから「不便だ」「家族がなかなか来てくれない」等々の不満やストレスが出てくることもあります。立地条件は、入居者の好みによるところが大きいく、しっかりと検討する必要があります。

豪華な食事に飽きてしまった

毎日のことを考えて、自分に合う料理かどうか確認しておきましょう。

夜間にスタッフが誰もいなくなる

夜間の勤務体制がどうなっているのかも大切なポイントです。夜間の介護や緊急時に対応できる職員を配置している施設や、居室に備え付けられている通報システムで、病気やケガなどの緊急連絡ができるような体制の施設などがあります。

高齢者向け住まいは種類が多く、それぞれの特徴や費用は多岐にわたります。あわてて探せば、自分の希望には遠い結果になりがちです。余裕を持って各施設の設備、雰囲気、スタッフの対応や周辺環境などを確認しましょう。もしその施設で体験入居できるなら、活用することをお勧めします。